

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿		
A	へき地医療を担う医師等医療従事者確保の取組み支援	①	へき地診療所における医療従事者の確保	1	地域のへき地医療提供体制の確保		
B	へき地医療支援機構は、へき地の医療機関における看護師等医療従事者を確保するため、労働者派遣に必要な事前研修を実施		指標			へき地診療所数	
C	オンライン診療の推進に係る取組みの支援		指標			へき地診療所の常勤医師数	
D	県は自治医科大学に対し、入学定員3名維持を要望し、継続的に自治医科大学卒業医師を確保		指標			へき地診療所等との間でオンライン診療を実施するへき地医療拠点病院等数	
	県はへき地診療所等に自治医科大学卒業医師を派遣						
E	県は、義務年限終了後の自治医科大学卒業医師の県内定着に向けたキャリア支援及び相談体制を充実			2	へき地医療支援機構による調整、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの連携強化、へき地を含む地域医療提供体制の確立		
E	へき地診療所の施設・設備整備、へき地医療拠点病院の運営及び施設・設備整備に係る経費の補助						
C	オンライン診療の推進に係る取組みの支援	再掲	②	へき地医療拠点病院によるへき地診療所への代診医派遣（継続的な医師派遣も含む）や無医地区等への巡回診療の確実な実施			
E	へき地診療所の施設・設備整備、へき地医療拠点病院の運営及び施設・設備整備に係る経費の補助	再掲				指標	代診医応需率
F	へき地医療支援機構は、へき地医療拠点病院に対して指導を実施					指標	無医地区等への巡回診療並びにへき地診療所への医師派遣及び代診医派遣を合計年12回以上実施しているへき地医療拠点病院の割合 ●
G	へき地医療支援機構は、総合診療医等の育成のため、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの連携を強化		指標	へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業の実回数が年間1回以上の医療機関の割合 ●			
H	へき地医療支援機構は、へき地勤務を希望する医師のキャリア形成支援を実施		指標	へき地診療所等との間でオンライン診療を実施するへき地医療拠点病院等数 再掲			
	へき地医療支援機構は、自治医科大学卒業医師の義務年限後の県内定着を推進		③	へき地医療支援機構による総合診療医等確保のための体制整備			
D	県は、義務年限終了後の自治医科大学卒業医師の県内定着に向けたキャリア支援及び相談体制を充実	再掲	④	へき地医療支援機構と岐阜県医師育成・確保コンソーシアムの連携によるへき地医療に従事する医師のキャリア形成支援			
H	へき地医療支援機構は、へき地勤務を希望する医師のキャリア形成支援を実施	再掲			指標	自治医科大学卒業医師の県内定着率	
H	へき地医療支援機構は、自治医科大学卒業医師の義務年限後の県内定着を推進	再掲					
C	オンライン診療の推進に係る取組みの支援	再掲	⑤	ICTの活用や複数の医療機関による連携等、広域で医療提供体制を確保する取組みの推進と、広域連携のもと、へき地医療が提供できる仕組みの構築			
I	複数の医師で複数の診療所をカバーする体制の構築やICTを活用したネットワークの構築に対して財政的支援を実施 地域医療連携推進法人を活用した医療従事者の広域的な確保・育成支援	再掲			指標	へき地診療所等との間でオンライン診療を実施するへき地医療拠点病院等数 再掲	
J	県による高校生・医学生、へき地域医療関係者向け研修会の実施、住民参加型意見交換会等の開催促進		⑥	県による医療従事者育成のための啓発事業の実施			
			指標	県・へき地医療支援機構が実施する高校生・医学生向けへき地医療啓発事業の参加者数			
K	通院困難者への歯科医療の提供に向けて検討会を設置		⑦	無歯科医地区等の歯科医療提供体制の確立			

※●は国の重点指標